

## 立山曼荼羅の成立過程に関する一考察

—木版立山登山案内図から立山曼荼羅への展開—

福江 充

## はじめに

江戸時代から昭和時代初期まで、立山衆徒（芦峯寺衆徒と岩峯寺衆徒）が布教先の人々を立山登山に誘うために、あるいは立山を訪れた参詣者や登山者に対し、お土産用として頒布した、「山絵図」と称する絵地図がある（註1）。それは単色摺りの木版画で、大きさは概ね縦60cm×横40cmであり、二枚の和紙を繋

ぎ合わせて一枚に仕立てている（註2）。

最近、この山絵図（以下、「木版立山登山案内図」と称す）を拡大模写して制作したと推測される立山曼荼羅が複数見つかったので、本稿ではそれらを紹介し、さらに、立山曼荼羅の成立過程についても若干の考察を試みたい。

## 1. 木版立山登山案内図「越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺」

多くの種類がある木版立山登山案内図のうち、富山県立図書館所蔵の「越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺」（註3）と題する2作品は全く同一の構図・画像をもつ。筆者は、後節で言及する立山曼荼羅『市神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』が、この版画を直接的に拡大模写して制作されたものと推測している。そこで、この木版立山登山案内図と前掲の立山曼荼羅各作品との影響関係をより詳しく検討するために、まず、この版画の構図や画像を確認しておく。

両作品の法量は、片方が（写真1）が縦61.6cm×横40.5cm、もう片方が縦57.0cm×横41.0cmである。両作品はもとより、木版立山登山案内図の基本的な構図は、一般的に見られる4幅1対の立山曼荼羅の構図と共通する点が多い。それには次のような傾向が見られる。まず、立山連峰の雄山・大汝山・浄土山・別山・劔岳といった諸峰の山並みがあり、山並みを境界として、その上方には空の空間、山並みの下方には山中の空間がある。そして、山中の空間のさらに下方には山麓集落の空間がある。これを活かして画面を分割すると、①岩峯寺集落、②横江集落、③千垣集落、④芦峯寺集落、⑤志鷹村集落、⑥立山山中（地域1）（藤橋～千寿ヶ原～美女平～一ノ谷・獅子ヶ鼻～弥陀ヶ原

～室堂～立山三山などの諸峰）、⑦立山山中（地域2）（地獄谷）、⑧立山山中（地域3）（カルデラ界限）、⑨立山上空などの地域に分割することができる。そして、それぞれの地域に、諸堂舎や名所・名物、尊体などの各種画像や、それに伴う文字注記が描き込まれている。この他、画面の各地域にまたがって川筋や禅定道の画像が描き込まれ、さらに外郭的な画像として作品題名や施主名、版元名、立山略縁起などが描き込まれている。

両作品に描かれた画像と文字注記は、第1表とトレース第1図に示すとおりである。また、両作品には岩峯寺系の立山略縁起の文言が記されているが、以下はその内容を翻刻したものである。

## 【部分1】

▲立山大権現ハ伊弉諾・伊弉冉の靈躰、／一切男女の元にて、此峯を城都として、上下人の／父母なる故、邪正俱に利益す、謂る越の大宮也。四十二代の／聖皇文武、神託によつて佐伯有頼公を越の領主に下し／給ふ。幸、二神、熊と鷹に化現して、嫡子有頼を峯中に引入す。／則玉殿岩屋の内にして、先代祖々の法を受持し、頓悟す。依て／慈興と称し、中興の開山也。大宝元年に別当岩峯寺を立、又／四月八日に権現告て曰、

霊天に八峯に住し、龍花会を持、上天ノに八此所に住し、とそつ寂光を守る。是垂跡の地なり。諸ノ堂精舎を造立し、毎年此日祭礼修行なすべしとノ云々。今に七社の神輿をすへ、楽者を揃へ、児の舞、法花ノ問答あり。此山の地主 hands 力雄の尊也。天平七年行基ノぼさつ此峯によち登り、諸嶽を拜し、岩嶽寺ノ五智の尊像を造立し、講殿に安置し給ふ。ノ依之一国の経蔵也、日本廻国の行者ノ此所に経を納むるなり。

### 【部分2】

別当岩くらの坊敷二十四かくばんになつハみねにノ住し、諸参詣の人をみちびき、冬春ハ岩くら寺ノ前立にて荘厳法会をつとむる也。ノあしくら姥堂ハ有若左衛門ノノ母の像、大宝三年八月十二日ノ忌日なるゆへ、まいねんノあきのひがんのノ中日に供ノ養をす。

### 【部分3】

▲岩くら寺ノ芦くら迄ノ三り。是ノ藤橋迄一り。右ハノ湯の又川、左リハしやうめう川。ノ藤橋の向にこがね坂あり、ノせんじゆが原有。此所にせんノじゆ堂有。是皆立山大権現ノノ式地、御本社迄九り八丁也。せんじゆ堂ノよりびぢよ杉迄一り。此間にくまを権現堂有。むかしノ材木捨る所へ女人来る故、材木石に成。立づミ横づミ、則、材木坂と成。がきノが首と云所有。くまをちんざ也。わしの岩屋。若狭国長良が尼の下女ノびぢよ杉と成。此所ハ水なし。ぶな坂迄一り。此間に右の尼かふろをしかりなノがら小便するに、ならく迄穴通し、しかりばりと云。だんざいのみさかと云坂有。ノふだんくハう仏ちんざ。長良が尼召つれしかふろ杉と成、廻り八尺斗、三間ノ上へ四方へノ枝みだれ、しんなし、廻り三十間あまり有。ぶな坂ノくわ谷へ一り。此間にしやノめうのたきを拜む。ふしおがみと云。か

りやす坂。くわ谷。此所昼飯する也。水あり。ノ別当所ノせつたいの茶屋有。ふどう堂迄一り。此間くハさき観音堂あり。ノふどう堂二間三間也。堂ノ右十間ばかり行て水有。追分迄一り。此間に湯ノの道有。松尾越へと云。あみだが原、やくし如来の木石有。追分堂ハぢさうぼノさつ。是ノ右ハ姥がふところのミち。右の尼石と成、女人のかたち有。左リハ一の谷道、登りにノ此道を行。下向にハ姥のふところを下る也。上野迄一り。此間に二の谷小さき、一の谷ノ大きくさき有。三条小かぢむねちか作。ししがはな岩屋、弘法大師ごま修行のはい有。ノさき峠坂の左の方ちくしやう原。其所にふしぎの牛馬見る事多し。面ハ人間にして四足ノ有。下市場迄一り。此間に鏡石あり。右尼姥がふところにて権現へ鏡を上るに石とノ成。二間四方有。小松坂、下市場、上市場有。聖霊市をなす故、市場と云。左リの方ハ大日ノがたけ。右ハ国見がだけ。室堂迄一り。此間に横わたりと云所、雪の上五丁斗り行。右ノに出しの谷と云、かんぜきの谷有。不信心の者ハちくせう出、通りがたし。地ごくの追分。ノぢそう堂。右の方ハ室堂ミち。左リハ地ごくミち。高とうばと云所、そとば有。右の方ノの山ハ大天狗、小天狗の御在所也。別当、室堂に居住す。堂ハ四間五間三ツある也。

さて、画中に上記の岩嶽寺系の立山略縁起が挿入されていたり、表題に「別当岩嶽寺」の文言が見られることから、この作品が岩嶽寺の宿坊衆徒にかかわるものであることは明らかである。さらに、これ以外にも岩嶽寺の諸堂配置が正確に記されているのに対し、芦嶽寺の諸堂配置や名称表現が曖昧であったり、部分的に誤っていること（例えば芦嶽寺帝釈堂の立地）などが、それを示している。

## 2. 立山曼荼羅『市神社本』

『市神社本』（写真2）は滋賀県八日市市の市神社所蔵で、形態は紙本著色1幅、法量は内寸が102.0cm×55.5cm、外寸が169.0cm×70.0cmである。

画中に「越中国立山岩嶽寺図絵」の表題と、「文化三寅年十月四日 北条左近平氏富書写（落款：楽口〔1文字難読〕）（落款：北条氏富）」と銘文が見られ、文化3年（1806）に北条左近平氏富と称する人物が、

おそらくは木版立山登山案内図「越中国立山禅定名所附図別当岩峠寺」を直接的に拡大模写して制作したものと思われる。

この作品に描かれた画像と文字注記は、第1表に示すとおりである。第1表は、木版立山登山案内図や一般的な立山曼荼羅に描かれた画像や文字注記のなかから107項目を選定し、画像については立山曼荼羅各作品における有無、文字注記については有無と記載文言を分析したものである。各項目を表の横列で見ると、作品相互の記載状況も比較することができる。表の縦列の比較1から6の項目は、木版立山登山案内図における画像・文字注記の有無、文字注記の記載文言を基準として、各作品の記載状況を数値で表したものである。その際、画像・文字注記がともに合致して

いる場合は1ポイントとし、画像はあっても文字注記がない場合、あるいはその逆の場合はともに0.5ポイントとした。画像の有無が全く一致しない場合(表中「×」マーク)や、画像の識別ができない場合(表中「▲」マーク)は0ポイントとした。

『市神神社本』の場合、これらのポイント数を集計すると107ポイント中104.5ポイントとなり、かなりの高率で木版立山登山案内図と『市神神社本』の間に模写関係があることがわかる。

この他、画中に挿入された縁起文の内容も、前節で翻刻した木版立山登山案内図「越中国立山禅定名所附図別当岩峠寺」に挿入された岩峠寺系の立山略縁起の文言と概ね共通している。

### 3. 立山曼荼羅『広川家本』

『広川家本』(写真3)は新潟県糸魚川市の個人所蔵で、形態は紙本著色1幅、法量は内寸が135.0cm×60.0cm、外寸が187.0cm×74.0cmである。

軸裏に「立山略図」と画題が見られる。この作品に描かれた画像と文字注記は、第1表とトレース第2図

に示すとおりである。前節で『市神神社本』に対して行った要領で第1表のポイント数を集計すると、107ポイント中、103.5ポイントとなり、かなりの高率で木版立山登山案内図と『広川家本』の間に模写関係があることがわかる。

### 4. 立山曼荼羅『飯野家本』

『飯野家本』(写真4)は富山県高岡市の個人所蔵で、形態は紙本著色1幅、法量は内寸が122.3cm×43.2cm、外寸が186.0cm×59.6cmである。

画中に「七十二翁 泰利光 乙未春 応需謹写」(落款)と銘文が見られる。乙未は安永4年(1775)や天保6年(1835)、明治28年(1895)などの可能性があるが、おそらくこの作品では天保6年(1835)であろう。当時72歳だった泰利光と称する人物が、誰かからの依頼を受けて、木版立山登山案内図「越中国立山禅定名所附図別当岩峠寺」を直接的に拡大模写して制作したものと思われる。軸裏に貼紙をして「越中立山略縁起之図 名刹 芦峠寺旧蔵」の墨書銘が記

されている。

この作品に描かれた画像と文字注記は、第1表とトレース第3図に示すとおりである。第1表のポイント数を集計すると、107ポイント中、102.5ポイントとなり、かなりの高率で木版立山登山案内図と『飯野家本』の間に模写関係があることがわかる。

この作品の画中には立山略縁起の文言が記されているが、その内容は木版立山登山案内図「越中国立山禅定名所附図別当岩峠寺」に挿入された岩峠寺系の立山略縁起の文言ではなく、芦峠寺系の立山略縁起(註4)の文言である。以下はその内容を翻刻したものである。立山略縁起／抑、天照大神宮、此世界を開闢し給ふ時、

立山御婦三尊八、／右の御手に五穀を納、左の御手に八麻の種を執持し、則、越中立山／芦峯に天降りたまへ、五穀・麻の種を法界に弘め、一切衆生の衣食をあたへ、／生長し、仏法の本源をたもち、終に八寂滅の本土に帰る。則、衆生生死の惣／政所故に、仏法第一之靈場也。後、人王四十二代文武天皇の御宇に志賀の京々／佐伯有若ハ越中の郡主を給わり、布施院に居城す。爰に大宝元辛丑年、／立山大権現熊と化し、刀尾天神ハ鷹と化し、則、布施の城に入給ふ時、城主の嫡／男佐伯有頼公、此鷹を心さし、則出給ふ時、其跡をしたひ、高山に登り、岩／嶺に向ひ給ふに、熊鷹一度に彼玉殿の窟に入、熊ハ生身の阿弥陀／如来と現し、鷹ハ大聖不動明王と現れ給へハ、忽に窟の内外、如来の大光／明に照され、則、極楽浄土を有頼ハ親に押し奉る。肝に銘じ、髪髪を切捨／紅涙し給ふ時、立山両大権現、生身の御声より、我此所に五百歳経といへとも、衆／生未知ずの所、今此山を開基し、末世濁悪の衆生を済度させんが為、／此峯へ導引也。必衆生を撰

化し給ふへしと、難有御示現蒙給ふ。爰に文殊菩薩／薩來臨して、佐伯有頼公を教化し、持戒して、慈興大上人と受名し、則、立山開山／慈興大上人是也。卯月八日、麓に帰着し給ふて、娑堂・講堂・御前立の権現両宮・／閻魔堂・帝釈堂・大門・仁王門・鐘桜堂等、其外、大権現大宮四十八末社・刀尾／天神若宮二十一末社建立し、立山の中宮と定め、則、寺号中宮寺と唱へ、且、佐伯／之宮に自像を遷し、和銅七年寅六月十三日申の刻に入定し給ふ。開山の靈廟／より御峯迄九里八丁也。則、御峯へ玉殿より権現遷り給ふ。峯に九品之／浄土現し、谷にハ一百三十六地獄の想を示し、一切衆生善悪輕いましめ／靈山也。一度此山へ参詣の輩、現世に福寿を増長し、来世ハ西方浄土に／往生無疑。然る所、慈興大上人、権現の前立七堂伽藍、七ヶ所に建立し／七千坊四十九院建、文武天皇の勅願を蒙り、天下第一之靈地也。／社僧芦峯寺・岩峯寺末代法式あらたに納奉る。現当二世大願／成就の御山也。短冊而已。立山芦峯寺

## 5. 立山曼荼羅『志鷹家本』

『志鷹家本』（写真5）は富山県立山町の個人所蔵で、形態は紙本著色1幅、法量は内寸が137.0cm×86.0cm、外寸が193.8cm×105.0cmである。

画中には「越中国立山図」の表題が見られ、さらに軸裏には次のような銘文が見られる。

### ①表装部分に直接記された墨書

越中立山図

天保二年 小松谷御坊正林寺什物トナル

### ②墨書の貼り紙

#### 【部分1】

維時天保七申年十月日

小松谷御坊正林寺御什物

当山十七世玉峯上人御代

#### 【部分2】

御曼陀羅奉納施主

上田幸右衛門

森本泰甫

村田庄八

#### 【部分3】

了翁浄心信士

釈妙信

了薰童子

池蓮童女

釈浄宗

国舞天信士

#### 【部分4】

信心輩

先祖代々講元

藤屋清兵衛

”

棕屋伊兵衛

”

女医師みやこ

”

伊勢屋吉兵衛

”

亀屋喜兵衛

- ” 帯屋治兵衛
- ” 藤屋平兵衛
- ” 大坂屋伊兵衛
- ” 小豆屋ゑい
- ” 大黒屋長兵衛
- ” 神岡喜兵衛
- ” 丸屋弥助
- ” 出雲屋九兵衛
- ” 金白吉兵衛

上記の銘文より、この作品は遅くとも天保7年(1836)までには成立しており、小松谷御坊正林寺の旧蔵本だったことがわかる。同寺は、現、京都市東山区上馬町、浄土宗、清涼山光明真言院。小松谷正林寺と通称する。本尊に円光大師像を置き、脇に藤原兼実・僧聖光弁阿の像を配する。開山堂に中興恵空の像を祀る(註5)。

銘文をさらに詳しく検討すると、この作品は、天保

7年(1836)頃、同寺の十七世玉誉上人の代に地元の人々が施主となって寄進したものである。「信心輩・先祖代々講元」の文言から、京都東山あたりでの立山講の存在がうかがわれ、藤屋清兵衛をはじめ、合わせて14名の信者名が記載されている。また、銘文に「御曼陀羅」の呼称が用いられており、この銘文を記した人物は、この作品を「曼陀羅」として認識していたようである。

この作品に描かれた画像と文字注記は、第1表に示すとおりである。第1表のポイント数を集計すると、107ポイント中、96.5ポイントとなり、かなりの高率で木版立山登山案内図と『志鷹家本』の間に模写関係があることがわかる。

この作品の画中には立山略縁起の文言が記されているが、その内容は木版立山登山案内図「越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺」に挿入された岩峯寺系の立山略縁起の文言と概ね共通している。

## 6. 立山曼荼羅『富山県 [立山博物館] B本』

『富山県 [立山博物館] B本』(写真6)は、富山県 [立山博物館] の所蔵で、形態は紙本著色2幅、法量は右幅の内寸が130.0cm×56.0cm、外寸が203.0cm×66.0cm、左幅の内寸が133.0cm×56.0cm、外寸が203.0cm×66.0cmである。

この作品に描かれた画像は、第1表とトレース第4図に示すとおりである。第1表のポイント数を集計すると、107ポイント中、40.5ポイントとなり、その数値だけを見ると、木版立山登山案内図と『富山県 [立山博物館] B本』との模写関係は、前述の『市神社

本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』の場合よりも弱いように感じられる。ただし、実は画像があっても文字注記がない場合は0.5ポイントで査定しているので、もし文字注記を度外視して画像の有無だけで査定すると107ポイント中、72ポイントとなる。したがって、『市神社本』や『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』の各作品に推測されるような、直接的な模写関係とまではいかないまでも、やはり木版立山登山案内図と『富山県 [立山博物館] B本』の間に相当強い影響関係があることがわかる。

## 7. 立山曼荼羅『桃原寺本』

『桃原寺本』(写真7)は、富山県魚津市の浄土真宗寺院桃原寺所蔵で、形態は紙本著色4幅、法量は4幅掛け合わせた際の内寸が156.0cm×188.0cm、外寸が183.5cm×192.0cmである。この作品と構図や

画像が似通った立山曼荼羅に、岩峯寺玉林坊が所蔵する『玉林坊本』や岩峯寺中道坊が所蔵する『中道坊本』、富山県小矢部市の個人が所蔵する『伊藤家本』がある。

この作品に描かれた画像は、第1表に示すとおりで

ある。第1表のポイント数を集計すると、107ポイント中、34.5ポイントとなり、その数値だけを見ると、木版立山登山案内図と『桃原寺本』との模写関係は弱いように感じられる。ただし、『富山県 [立山博物館] B本』の場合と同様、もし文字注記を度外視して画像の有無だけで査定すると107ポイント中、65ポイン

トとなる。したがって、『市神神社本』や『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』の各作品に推測されるような直接的な模写関係とまではいかないまでも、やはり木版立山登山案内図と『桃原寺本』の間に相当強い影響関係があることがわかる。

## 8. 木版立山登山案内図から立山曼荼羅への展開過程

本節では、第1節で概略した木版立山登山案内図と、2節から7節で概略した立山曼荼羅各作品とを相互に

比較することで、木版立山登山案内図から立山曼荼羅への展開過程について考えてみたい。

### 8-1. 成立時期

各作品の成立時期は、銘文から『市神神社本』が文化3年(1806)、『飯野家本』が天保6年(1835)、『志鷹家本』が天保7年(1836)以前であることが確認できる。『広川家本』には銘文などがなく、成立時期は不明だが、1枚物の大きな紙ではなく、紙をこまめに貼り継いで画面を作っているのが、案外古い作品と思われる。『市神神社本』や『飯野家本』と同様、江戸時代後期の成立とみてよいだろう。

『富山県 [立山博物館] B本』と『桃原寺本』には、画中、岩嶺寺の境内地に湯立て釜が1基描かれている。

これは、弘化2年(1845)に加賀藩第13代藩主前田斉泰が岩嶺寺に寄進したものであり、当時は夫婦釜として2基が据えられていた。しかし、安政5年(1858)、越中を襲った大地震がきっかけで、境内地の横を流れる常願寺川が大洪水を引き起こしたとき、2基のうちの1基が流されてしまった。したがって、画中に1基の湯立て釜が描かれた『富山県 [立山博物館] B本』と『桃原寺本』は安政5年(1858)以降の成立と推測される。

こうした木版立山登山案内図を題材とした立山曼荼羅は、文化期頃から天保期を経て安政期へと向かうなかで制作されていったようである。

作品の銘文より、『市神神社本』は北条氏富、『飯野家本』は他者の求めに応じて泰利光が描いたことがわかる。『志鷹家本』は、その制作者は不明だが、京都の立山講の14名の信者によって寄進されている。

第3節で、『広川家本』の画像と文字注記は木版立山登山案内図のそれと、かなりの高率で合致していることを指摘した。しかし、木版立山登山案内図や『市神神社本』、『飯野家本』、『志鷹家本』には描かれず、『広川家本』だけに描かれている「じゃなぎ」の文字注記をともなう木の画像が興味深い。それは布橋の付近に柳の木のかたちで描かれている。この画像がどのような言い伝えや説話をもつのかは明らかでないが、一般的な立山曼荼羅には描かれない画像が見られることから、『広川家本』は、芦嶺寺衆徒や岩嶺寺衆徒ではなく、その外部者によって制作されたものであろう。

『富山県 [立山博物館] B本』についても、構図や画像をこまめに分析していくと、芦嶺寺衆徒や岩嶺寺衆徒ではなく、その外部者によって制作されたことが推測される。その根拠となる画像を幾つか見ておく。

立山開山縁起の一場面である佐伯有頼が熊に矢を射て追いかける画像は、一般的な立山曼荼羅では横江村～千垣村のあたりに描かれるが、この作品では、立山山中の美女平あたりに描かれている。これはたいへん珍しい事例である。

一般的な立山曼荼羅では、立山山中材木坂の画像は、

### 8-2. 制作者

坂そのものが材木を敷き並べたかたちで表現されるが、この作品では、坂は通常の登山道と何ら変わりなく描かれ、坂の脇に材木が散乱した様子を付加することで、その場所が材木坂であることを表現している。

賽の河原の画像が、一般的な立山曼荼羅では、立山山中の雷鳥沢と浄土沢の出合いに実在する「賽の河原」を意識して、画中においても概ねその場所に配置されるが、この作品では、みくりが池の湖岸に嬰兒を描き込んで、それを「賽の河原」として表現している。

一般的な立山曼荼羅では、立山山中の地獄谷を立山地獄に見立てて、そのスペースに烈しい火焰の様子や、獄卒が亡者に責め苦を与える様子を描くが、この作品ではそれに加え、立山カルデラのあたりにも立山地獄の場面のように、獄卒と火焰を描いている。

立山山中の弥陀ヶ原あたりに、編み笠を被って錫杖を持つ僧侶らしき人物と白装束の亡者らしき女性の人物が描かれているが、おそらくこの画像は、『今昔物語集』所収の立山地獄説話「越中立山の地獄に墮つる女、地藏の助けを蒙る語」（巻17第27）を題材にしたものであろう。立山地獄に見立てられた地獄谷の領域にではなく、弥陀ヶ原の領域に亡者を配置するのは珍しい事例である。ちなみに、立山地獄の場面でこうした画像が描かれ、もし亡者が男性であるならば、それは「善知鳥」の立山地獄説話を題材にしたものである。

さて、以上の状況から推測すると、木版立山登山案内図を直接的に拡大模写して制作された立山曼荼羅、あるいはその影響を強く受けた立山曼荼羅は、立山信仰の伝播者である芦峯寺衆徒や岩峯寺衆徒の間で制作されたわけではなく、むしろ立山信仰の受容者である檀那場の信者たちの間で、あるいは立山禪定登山に訪れた、いわば外部の人々の間で制作されたものようである。

### 8-3. 形態

『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』は、いずれも紙本1幅の掛軸式絵画である。『富山県〔立

山博物館〕B本』は紙本2幅の掛軸式絵画である。『桃原寺本』は紙本4幅の掛軸式絵画である。これらの作品はいずれも紙本であり、絹本は見られない。表装もそれほど凝ったものは見られない。したがって、例えば、幕末期に幕閣大名や皇女和宮らが寄進した絹本の立山曼荼羅『宝泉坊本』や『吉祥坊』（註6）のように、高級な美術作品というわけではない。これらのなかで特に1幅物の『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』は、立山禪定登山を実際に行った人物が、それを記念する意味で、自分の身近にいる絵師に依頼し、手頃な費用で描かせて所持したものであろう。

### 8-4. 色彩

芦峯寺衆徒や岩峯寺衆徒が頒布した木版立山登山案内図は単色摺りであり、制作にそれほど費用や手間がかからない簡便なお土産絵地図であった。それにある程度の色彩が施され、次第に観賞用絵画の様相を呈していったのが、『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』である。ただし、これらの作品はいずれも立山地獄の火焰や阿弥陀三尊の来迎、各集落、名所、名物など、部分的には鮮やかな色彩が用いられているとはいえ、画面全体的には淡彩を用いて描かれており、あっさりとした画風である。それが『富山県〔立山博物館〕B本』や『桃原寺本』では、画面全体に着色され、他の一般的な立山曼荼羅と同様に絵画そのものといった作品になっている。以上の内容を概略すると、木版立山登山案内図から立山曼荼羅に展開していくにしたがって、多様な色彩が用いられるようになっていくのである。

### 8-5. 版画から肉筆画へ

単色摺り版画の木版立山登山案内図は線画であり、いたってシャープな画風である。これに対し『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』、『富山県〔立山博物館〕B本』は山岳の描写に彩色が施されたり、また時にはぼかしの技法なども用いられ、木版登山案内図と比べると、構図や画像の輪郭線には共通した部分もあるとはいえ、若干ゆったりとした画風で

ある。版画「立山登山案内図」から肉筆画「立山曼荼羅」へ転じることで、絵地図的性格が弱まり、絵画的性格が強まった。

#### 8-6. 表題

木版立山登山案内図に記された「越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺」の表題から、その名が示すように、岩峯寺衆徒が発行する立山禅定登山の際の名所案内図的な性格がうかがわれる。

『市神神社本』に記された「越中国立山岩峯寺図絵」の表題は、この絵図が岩峯寺衆徒、及び彼らが広める立山信仰にかかわるものであることを示している。

『広川家本』の「立山略図」の表題からは、立山禅定登山の際の山名案内図や名所案内図としての性格がうかがわれる。

『飯野家本』における「越中立山略縁起之図」の表題は、軸裏の「越中立山略縁起之図 名刹 芦峯寺旧蔵」の銘文から推測すると、おそらくこの作品が成立した当初から記されていたものではなく、のちの時代に所蔵者が代わってから付加されたものであろう。この作品においては、その構図・画像が基本的には岩峯寺系の木版立山登山案内図を踏襲しているにもかかわらず、むしろ画面上部に挿入された芦峯寺系の立山略縁起に制作者の意識が強く置かれ、「越中立山略縁起之図」と題付けされたものであろう。

『志鷹家本』の「越中国立山図」の表題については、『市神神社本』の表題のように「岩峯寺」の文言がなく、制作者がこの絵図と岩峯寺衆徒とのかわりをどれだけ意識していたかはわからないが、少なくとも霊山立山を描いた絵図との認識で題付けされたようである。

『富山県 [立山博物館] B本』は、まだ木版登山案内図の要素を多分に残すとはいえ表題が見られない。立山曼荼羅にはそもそも表題がないのが普通であるが、この作品については、木版登山案内図を原図とした作品が、ある意味、一般的な立山曼荼羅の内容にかなり近づいてきたことを示している。

以上の各作品における表題のあり方から、名所案内

図（木版立山登山案内図の「越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺」、『広川家本』の「立山略図」）から鑑賞のための絵画（『市神神社本』の「越中国立山岩峯寺図絵」、『志鷹家本』の「越中国立山図」）、さらに立山曼荼羅（『富山県 [立山博物館] B本』）への展開過程がうかがわれる。

#### 8-7. 道筋・川筋・方位

木版登山案内図はもとより、それを直接的に拡大模写して制作した『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』、同版画の影響を強く受けた『富山県 [立山博物館] B本』では、いずれも立山禅定登山の道筋や、常願寺川、称名川、湯川、浄土川などの川筋を必携の画像として描いており、作品には絵地図的性格が強く表れている。これが『桃原寺本』のように一般的な立山曼荼羅になると、それらの画像は描かれなくなる。

また、木版登山案内図には「東・西・南・北」の方位を示す文字注記があり、『飯野家本』にもそのうち「西」だけの文字注記がある。その他の作品には方位の文字注記は見られない。方位の文字注記がある作品は、より絵地図的な性格が強いといえる。

以上の内容を概略すると、木版立山登山案内図から立山曼荼羅に展開していくにしたがって、道筋・川筋・方位などの絵地図的な画像・文字注記が消えていくのである。

#### 8-8. 縁起文

木版立山登山案内図は小型のお土産用絵地図であるから、その画中に描かれた画像や記載された文字注記、縁起文などは人々に鑑賞させるというよりは、読ませるためのものである。

それが拡大模写され掛軸形式となった『市神神社本』では、木版立山登山案内図と同様、絵柄のなかに縁起文が挿入されているものの、この場合、その煩雑な書き具合から実質的にはその文言が読ませるためのものとして機能しているとはいえ、むしろ絵画における

画像の一部として挿入されているようなものである。そうすると『市神神社本』は観賞用絵画といえよう。

『飯野家本』では、絵柄と縁起文が切り離されており、画中、絵柄の上に別立てで記載されている。

『広川家本』では上記の2作品からさらに進展し、縁起文が削除され、代わりにその部分には飛雲の画像が描き込まれ、『市神神社本』以上に観賞用絵画としての性格が強まっている。

『富山県〔立山博物館〕B本』や『桃原寺本』になると縁起文はなくなり、もはや一般的な立山曼荼羅である。画像を解説するための文字注記や縁起文はなくなり、むしろそうした機能は衆徒が絵の内容を絵解きをすることでまかなわれる。

以上の内容を概略すると、木版立山登山案内図から立山曼荼羅に展開していくにしたがって、縁起文が絵柄の外に別立てで記載されるか、あるいはなくなっていくのである。

#### 8-9. 文字注記

第1表が示すように、木版立山登山案内図に記載された文字注記は、『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』にも全く同じように記載されている。これは、上記の作品が木版立山登山案内図を直接的に模写して制作されたことを裏付ける。したがってまだ構図・画像に絵地図的性格が強く表れているが、それに対し文字注記がなくなった『富山県〔立山博物館〕B本』になると、絵地図的性格と絵画的性格を等分に併せもつ作品となり、さらに展開して『桃原寺本』になると、絵地図的性格は弱まり、絵画的性格が強まっている。

#### 8-10. 日輪・月輪

木版立山登山案内図は絵地図であるから、マンダラのシンボリックな画像ともいえる日輪・月輪は描かれない。『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』、『富山県〔立山博物館〕B本』にも、日輪・月輪の画像は見られないが、そのことは、上記の作品が

木版立山登山案内図の影響のもとで制作されたことを裏付ける。

#### 8-11. 立山開山縁起や立山地獄の画像

木版立山登山案内図をはじめ、『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』には一般的な立山曼荼羅に見られるような、立山開山縁起の登場人物である佐伯有頼や熊、鷹、玉殿窟の矢疵阿弥陀如来などの画像は描かれない。また、立山地獄の場面についても、地獄谷中心部の地藏堂や血の池の如意輪観音堂、賽の河原の地藏堂など、幾つかの諸堂が描かれるものの、あとは火焰の画像で表現するだけで、獄卒が亡者に責め苦を与える画像は一切見られない。いわば、立山地獄の場面には登場人物が不在なのである。したがって、これらの作品は絵地図的性格が強く、説話画的性格は弱いといえる。

一方、『志鷹家本』では、画中に立山開山縁起の一場面である佐伯有頼が熊に矢を射て追いかける画像（一般的な立山曼荼羅では横江村あたりに描かれるが、『志鷹家本』では芦峯寺村あたりに描かれている）や、その熊が矢疵を負って材木坂を駆け登っていく画像（一般的な立山曼荼羅には見られない画像である）が描き込まれ、この他、一ノ谷の大鎖場を参詣者が獅子ヶ鼻に向かってよじ登っていく画像なども見られる。

さらに立山地獄の場面についても、火車の様子など獄卒が亡者に責め苦を与える画像が描き込まれている。なお、これらの立山地獄の画像は、江戸時代後期の絵入り往生要集の挿絵や当時の浮世絵などの影響を受けた、いわゆる残虐絵のような表現で描かれている。

『富山県〔立山博物館〕B本』でも、立山山中の美女平のあたりに、佐伯有頼が熊に矢を射て追いかける画像が描かれている。さらに立山地獄の場面については、火車や目連救母説話に関する画像（いずれも阿鼻地獄に属する）の部分、劔岳を刀葉樹に見立てた画像（衆合地獄に属する）、亡者が二本の杭に挟まれて苦しむ画像、血の池地獄とそこに堕ちて苦しむ女性、畜生道の人面馬、賽の河原の嬰兒などが描かれている。

こうした人物や獄卒、亡者などの動きのある画像が描き込まれることによって、『志鷹家本』や『富山県 [立山博物館] B本』では、絵地図的性格が弱まり、それに代わって説話画的性格が強まるのである。

#### 8-12. 阿弥陀如来と観音菩薩・勢至菩薩の三尊来迎

木版立山登山案内図を拡大模写して制作された作品は絵地図的性格がきわめて強いものの、立山の本地仏である阿弥陀如来と観音菩薩・勢至菩薩の三尊来迎の画像があることで、本地仏曼荼羅としての礼拝画の意味ももっている。

『市神神社本』では、赤色の線画で飛雲が描かれ、それに乗る茶色の阿弥陀三尊が描かれている。『広川家本』では、全身が金色で塗られて光り輝く阿弥陀三尊が描かれている。『飯野家本』では、身体は茶色に塗られ、光背は金色に塗られた阿弥陀三尊が描かれている。『志鷹家本』では、線画に白色を塗った飛雲に乗って、全身を金色に塗られた阿弥陀三尊が描かれている。『富山県 [立山博物館] B本』の阿弥陀三尊は、顔・胸・腕などが金色で塗られ、納衣は茶色で塗られている。

これらのうち、特に『広川家本』が特徴的で、画面全体のなかで阿弥陀如来と観音菩薩・勢至菩薩の三尊来迎の場面が著しく強制的に描かれている。具体的に説明すると、立山連峰を、その聖域性を強調するが如く純白色で描き、そこへ薄赤色で描かれた飛雲に乗って、金色に塗り描かれた阿弥陀三尊が来迎するといった表現をとっている。三尊が大きめに描かれ、この場面が圧倒的に強調されることで、作品は本地仏曼荼羅の様相を呈し、木版立山登山案内図の絵地図的性格から立山曼荼羅の説話画的性格への転化を遂げうるのである。

#### 8-13. 参詣者

木版立山登山案内図には参詣者の画像は見られない。それは同様に『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』でも全く見られないが、『志鷹家本』になると、一部分のみではあるが、一ノ谷の崖の鎖場を獅子ヶ鼻

に向かってよじ登ろうとする二名の参詣者が描かれており、それが『富山県 [立山博物館] B本』や『桃原寺本』になると、ある程度の人数の参詣者が山麓・山中に描き込まれるようになる。参詣者を描き込むことで、画面に動きが生じることとなる。静止画的な絵地図から動画的な説話画へと転化を遂げうるのである。

#### 8-14. 『飯野家本』が示唆する今後の研究課題

岩嶽寺一山と芦嶽寺一山の両方の要素が混在している『飯野家本』は、従来指摘されてきた立山曼荼羅諸本に対する分類方法の見直しの必要性を示唆する。

すなわち、『飯野家本』については、構図や画像は岩嶽寺系の木版立山登山案内図を原図として成立しているが、縁起の部分は芦嶽寺系の立山略縁起を用いている。これを制作したのは、芦嶽寺衆徒でも岩嶽寺衆徒でもない、まったく外野の泰利光と称する老人であるが、それも、他者の依頼によって描いている。

泰利光及び依頼者にとっては、この作品が芦嶽寺系・岩嶽寺系のどちらでもよかったわけであり、その折衷型の作品が成立したわけである。

こうして、考えると、芦嶽寺衆徒や岩嶽寺衆徒の影響力が弱いところ、あるいは全くない所でも、例えば誰かが立山禅定登山を実際に行ったことの記念として、お土産に買ってきた木版立山登山案内図を絵画かすることは十分ありうるわけで、そうした際にできる立山曼荼羅は、従来言われてきた芦嶽寺系立山曼荼羅・岩嶽寺系立山曼荼羅といった分類の範疇を越えていることになる。

立山曼荼羅の草創期、芦嶽寺衆徒や岩嶽寺衆徒によって自ら手掛けられた立山曼荼羅や、あるいはその強い影響下で描かれた立山曼荼羅については、芦嶽寺系・岩嶽寺系の系統分類は意味を持つが、立山信仰の広がりと共に、それが立山衆徒の管轄外でも作られるようなことが生じてくると、前述の分類方法は、必ずしもあてはまらなくなる。

立山曼荼羅の誕生時期からある程度の発展期までは、芦嶽寺系・岩嶽寺系の分類方法は有効だが、さら

にそれが展開していくと、必ずしもその分類方法は有効でなくなる。そのことを如実に示しているのが、芦

峯寺系でもあり岩峯寺系でもある、または芦峯寺系でもなく岩峯寺系でもない、この『飯野家本』である。

## おわりに

以上の分析から、立山曼荼羅の『市神神社本』、『広川家本』、『飯野家本』、『志鷹家本』は、いずれも木版立山登山案内図を直接的に拡大模写、及び加筆して製作されたことがわかる。また、『富山県〔立山博物館〕B本』や『桃原寺本』についても、これら一連の作品のように直接的な模写関係はないにしろ、構図や、画像モチーフの類似性から同系種の作品として位置づけられる。この結果、立山曼荼羅の成立パターンのひとつに、木版立山登山案内図から立山曼荼羅が成立していくパターンがあったことが指摘できる。そしてその成立過程は、木版立山登山案内図（情報を読むための絵地図）→『市神神社本』『広川家本』『飯野家本』『志

鷹家本』（鑑賞・礼拝のための絵画）→、『富山県〔立山博物館〕B本』『桃原寺本』（鑑賞・礼拝に加え教化の目的をもった絵画）といった流れをたどっている。

今後の研究課題として、『飯野家本』の事例で指摘したように、芦峯寺衆徒や岩峯寺衆徒との関係が弱いところで、あるいは全くないところで制作される立山曼荼羅の存在を、立山曼荼羅の研究史上、どのように位置づけるかといった問題が新たに浮上してきた。芦峯寺系・岩峯寺系といった従来型の分類方法の範疇を越えた立山曼荼羅に対する考察は次回の取り組みとしたい。

# 越中国立山禅定名所附圖別当岩峯寺

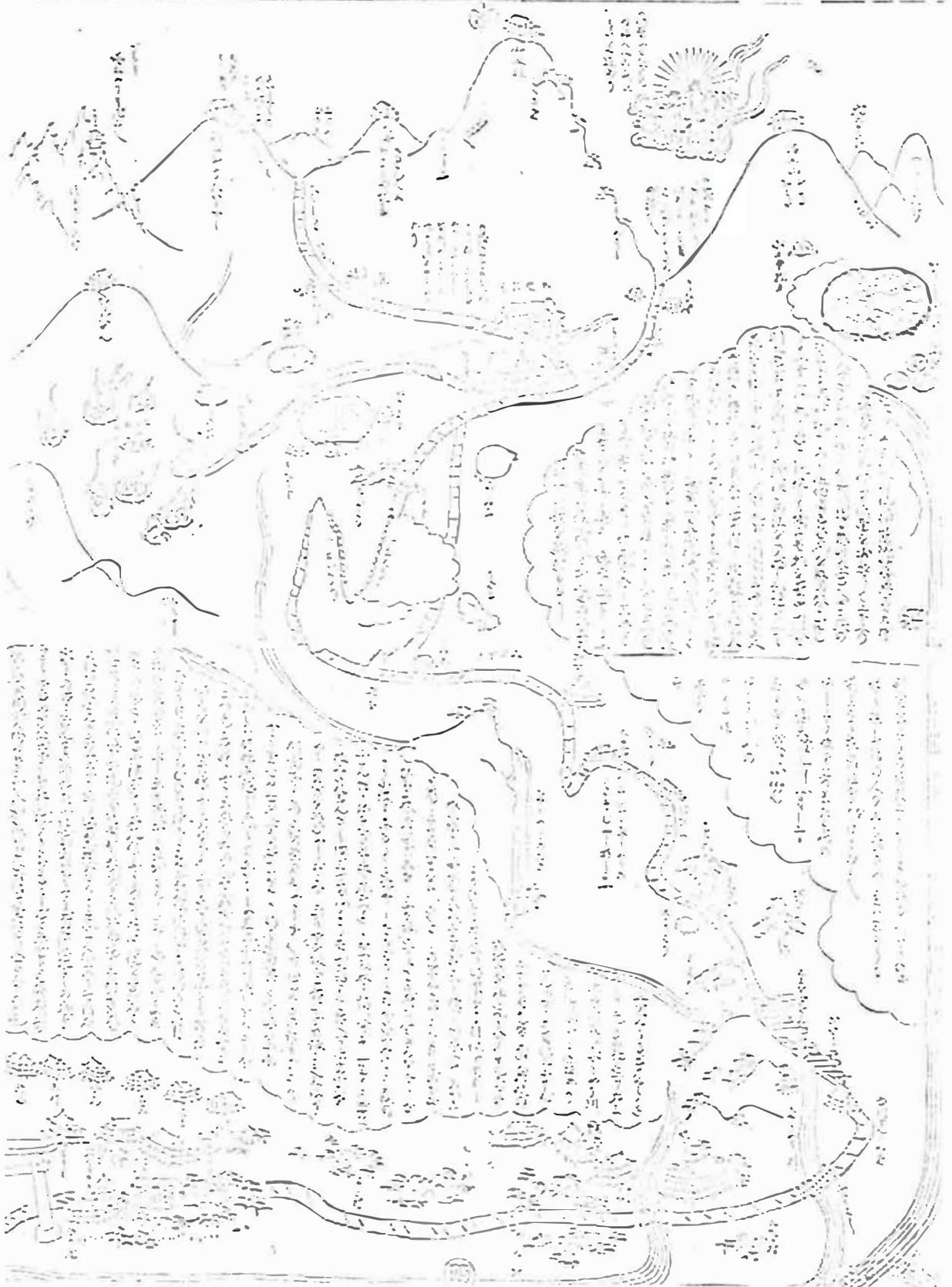
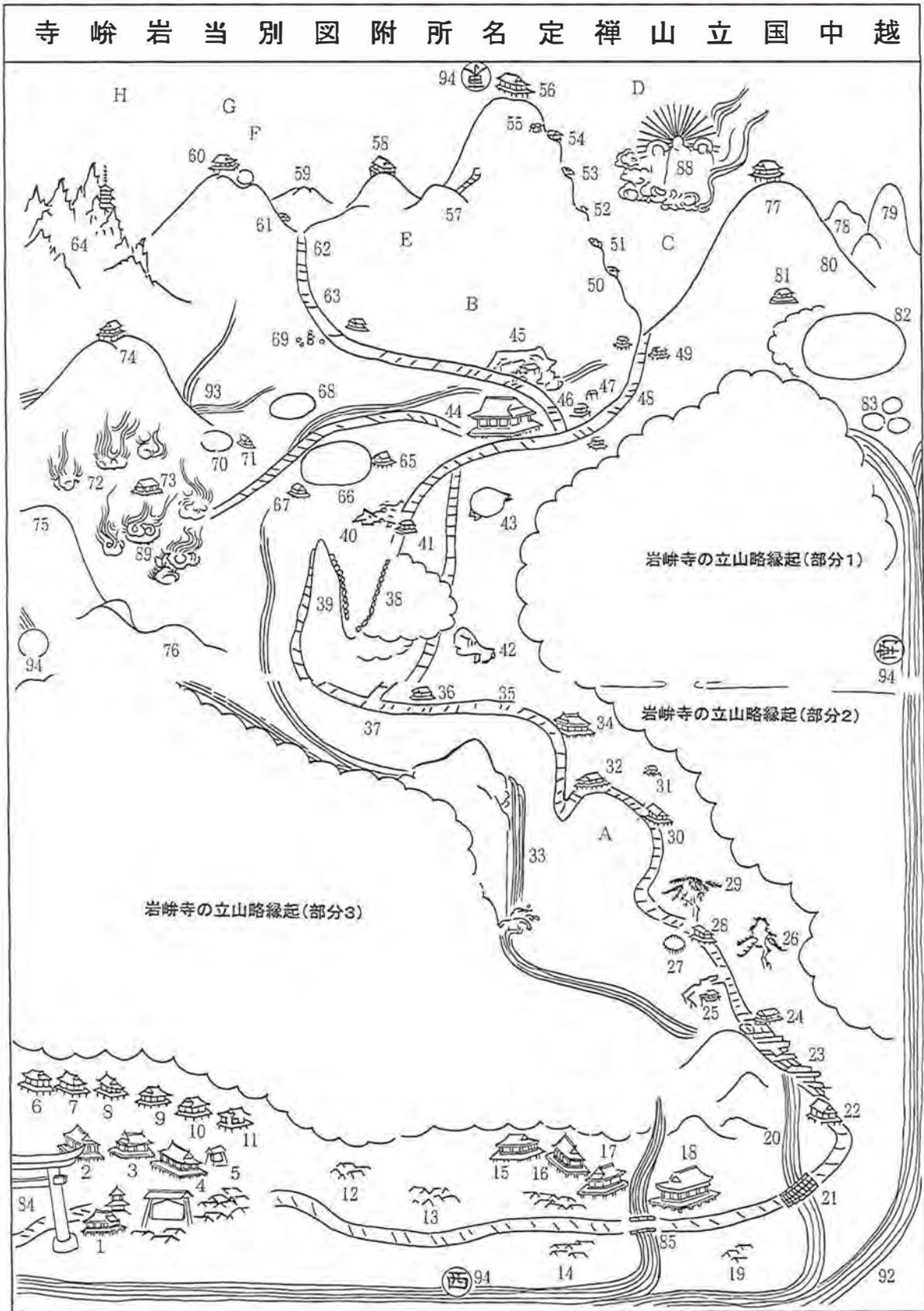


写真1 木版立山登山案内図『越中国立山禅定名所附圖別当岩峯寺』

第1図：木版立山登山案内図『越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺』のトレース図



トレース図制作=杉本理恵氏

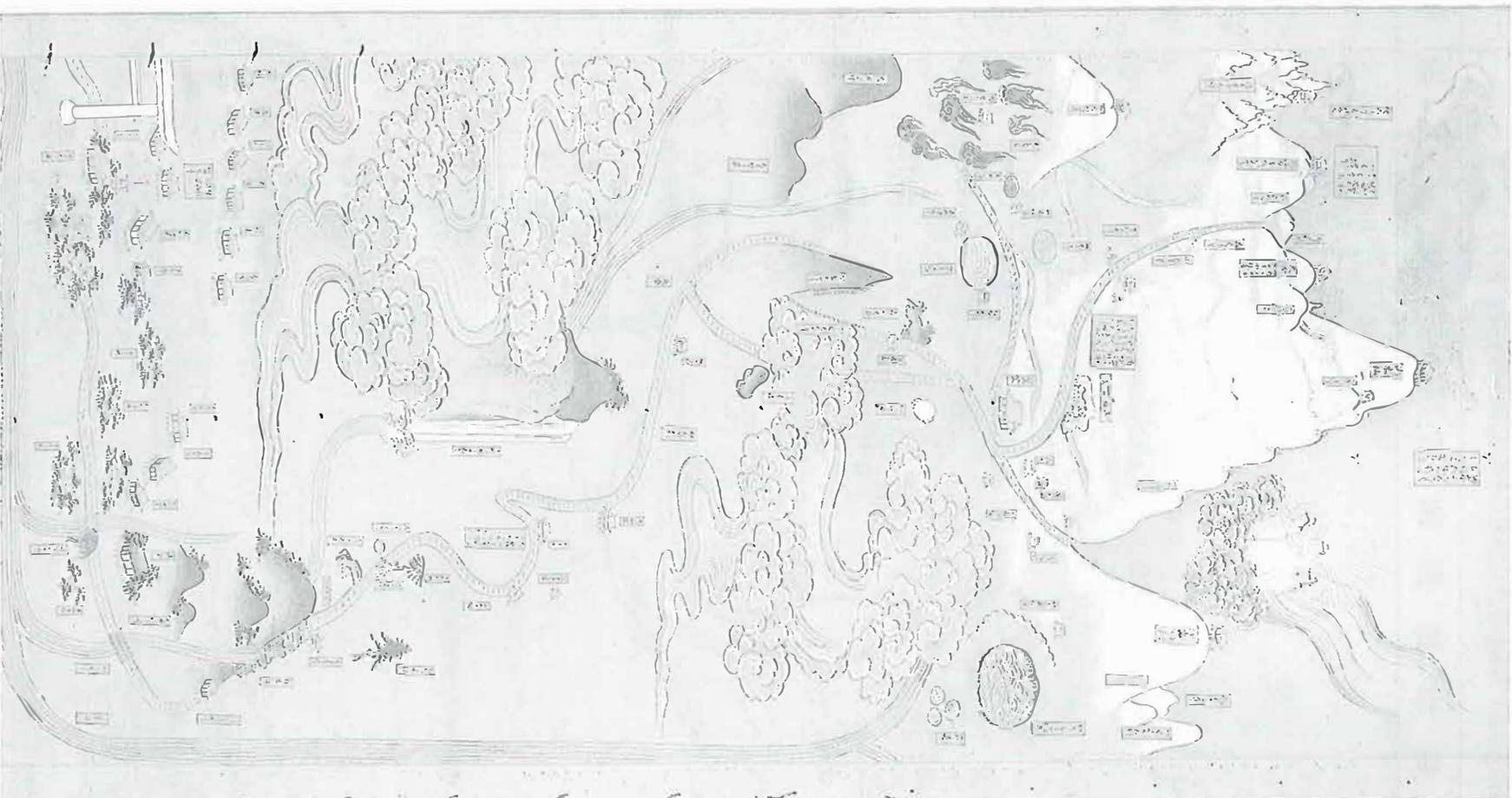


写真3 立山曼荼羅『広川家本』

第2図：立山曼荼羅『広川家本』のトレース図

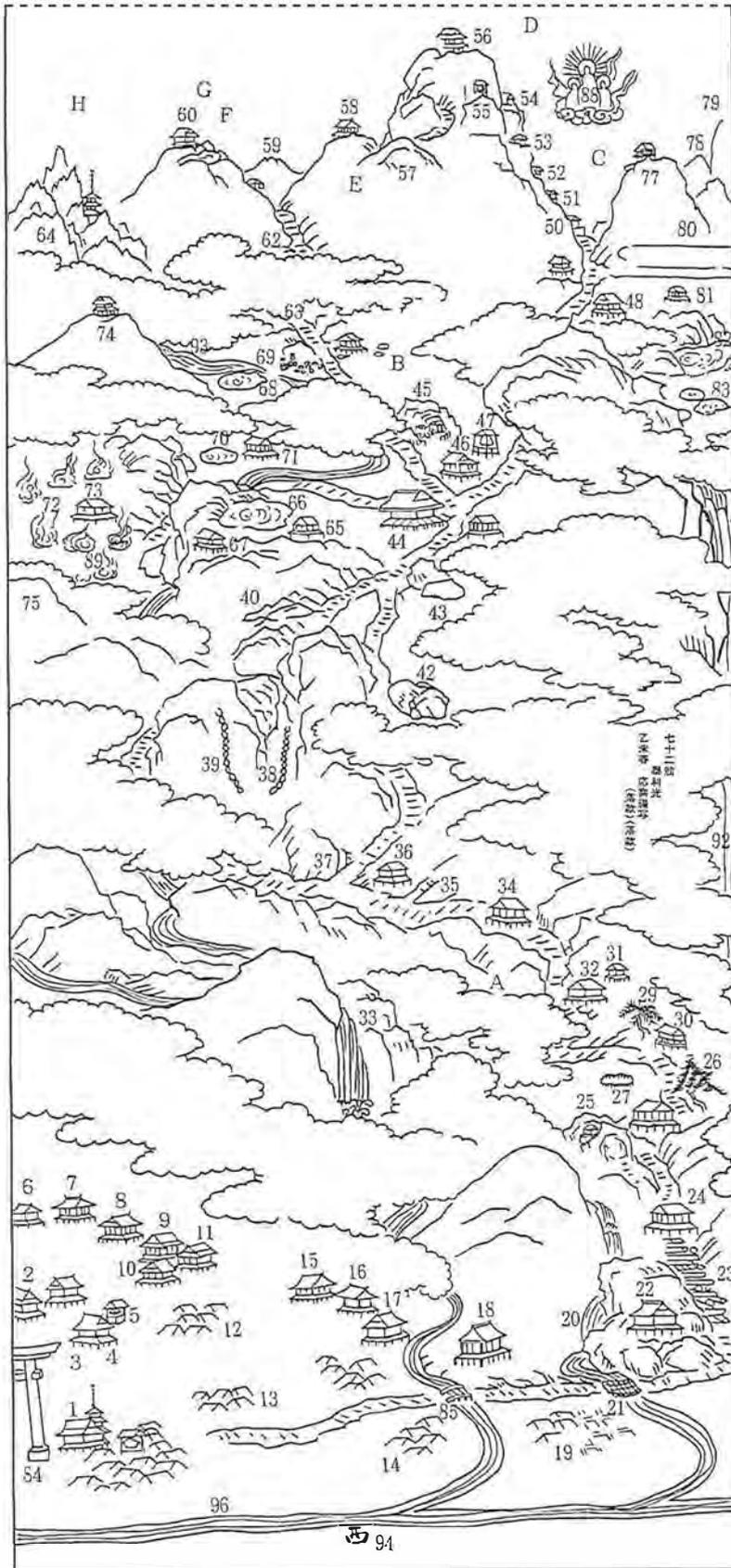


トレース図制作=杉本理恵氏



写真4 立山曼荼羅『飯野家本』

第3図：立山曼荼羅『飯野家本』のトレース図



トレース図制作＝杉本理恵氏

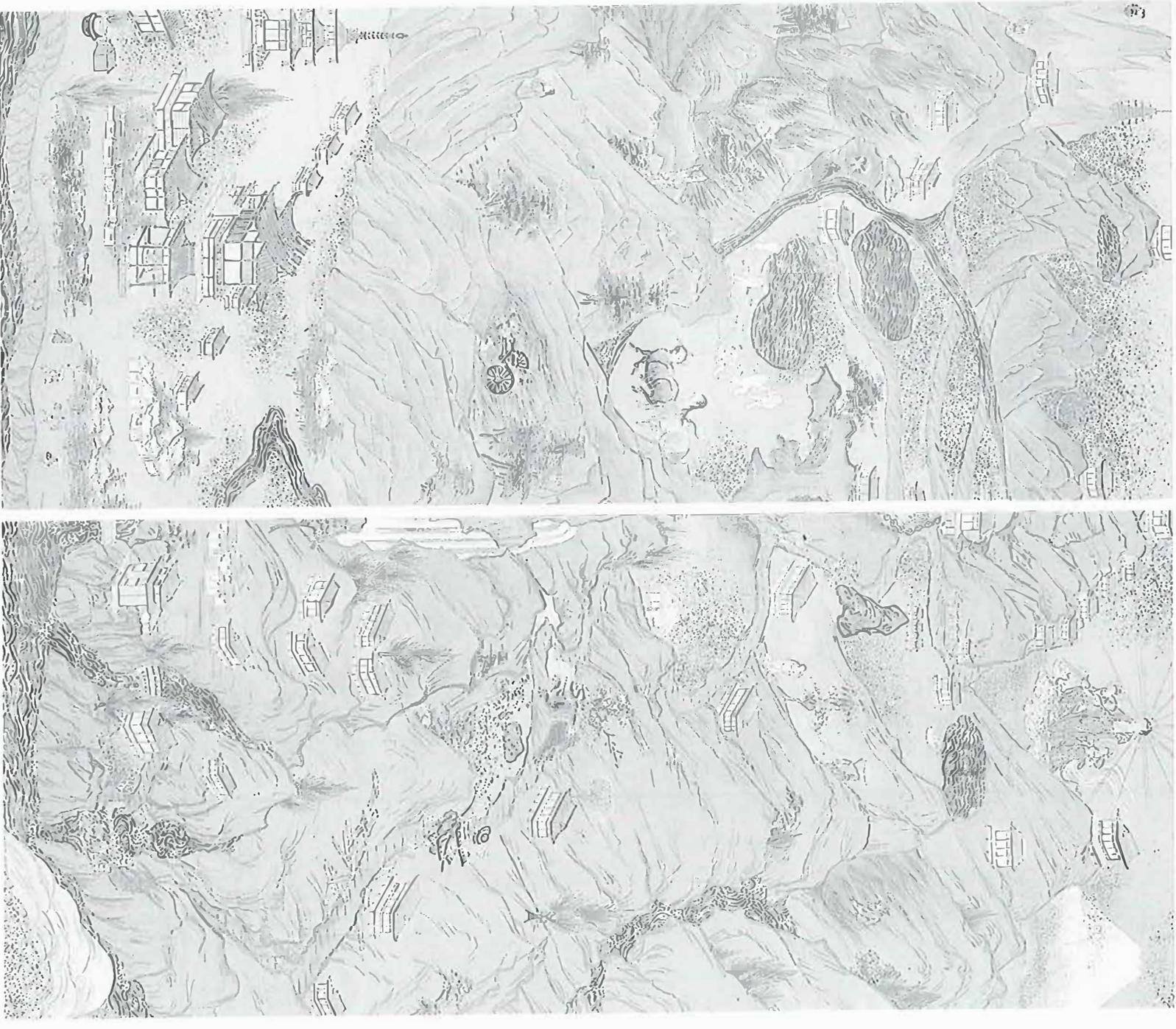
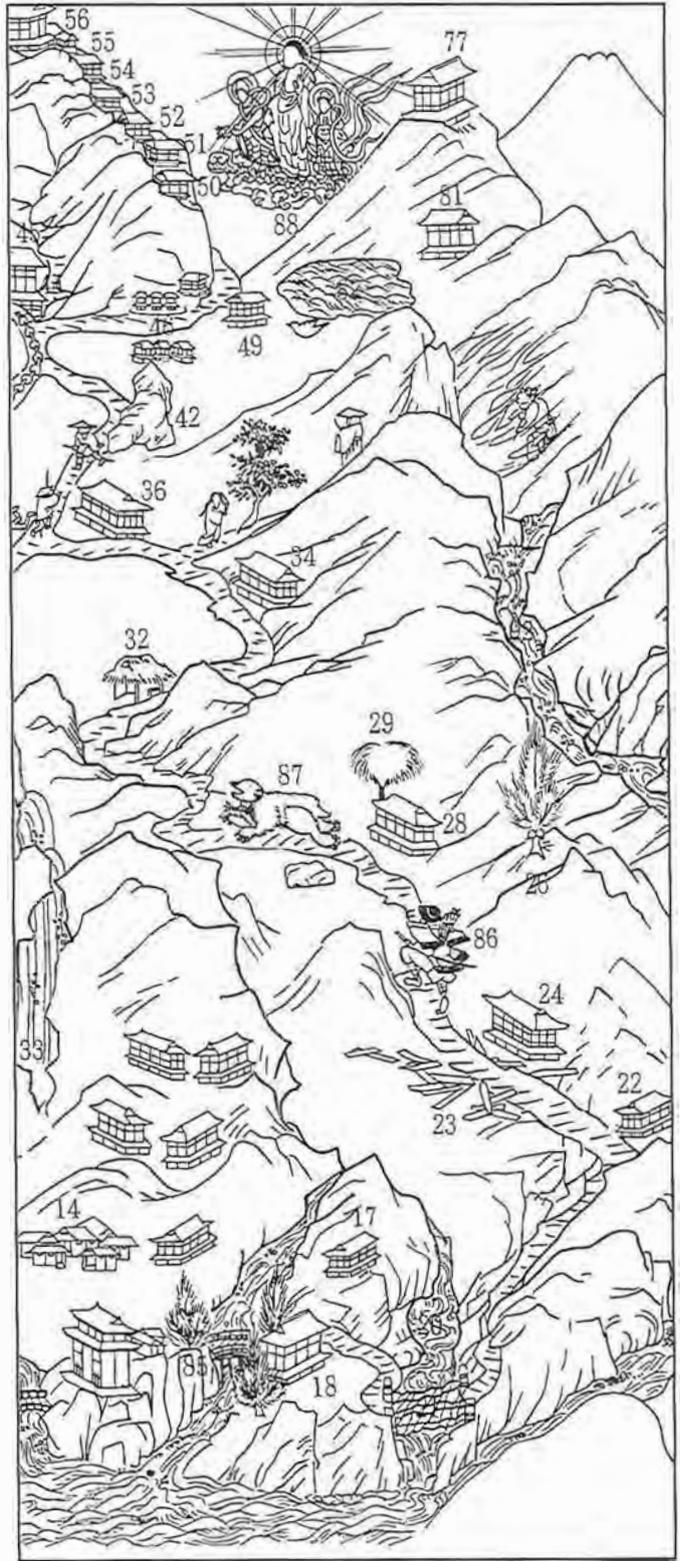


写真6 立山曼荼羅『富山県 [立山博物館] 日本』

第3図：立山曼荼羅『飯野家本』のトレース図



トレース図制作＝杉本理恵氏

第1表：木版立山登山案内図と立山曼荼羅各作品との画像・文字注記比較表

| 項目<br>番号 | 比較項目                | 木版立山登山案内図  | 市神神社本       | 比較<br>1 | 広川家本       | 比較<br>2 | 坂野家本       | 比較<br>3 | 志強家本       | 比較<br>4 | 立山博物館日本     | 比較<br>5 | 桃原寺本        | 比較<br>6 |
|----------|---------------------|------------|-------------|---------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|-------------|---------|-------------|---------|
| 001      | 宮かり屋 (建造物)          | 宮かり屋       | ミカリヤ        | 1       | 御かり屋       | 1       | 御かり屋       | 1       | 御かり屋       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 002      | 講堂 (建造物)            | こう堂        | 講堂          | 1       | こう堂        | 1       | こう堂        | 1       | こう堂        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 003      | 神前立山別当岩くら寺 (建造物)    | 神前立山別当岩くら寺 | 神前立山別当岩くら寺  | 1       | 神前立山別当岩くら寺 | 1       | 神前立山別当岩くら寺 | 1       | 神前立山別当岩くら寺 | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 004      | 拜殿 (建造物)            | はいでん       | 拜殿          | 1       | はいでん       | 1       | はいでん       | 1       | はいでん       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 005      | 鐘楼堂 (建造物)           | しゆらう堂      | シユ楼堂        | 1       | しゆらう       | 1       | しゆらう       | 1       | しゆらう       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 006      | 神明 (建造物)            | 神明         | 神明          | 1       | 神明         | 1       | 神明         | 1       | 神明         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 007      | 天神 (建造物)            | 天神         | 天神          | 1       | 天神         | 1       | 天神         | 1       | 天神         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 008      | 八幡 (建造物)            | 八まん        | 八幡          | 1       | 八まん        | 1       | 八幡         | 1       | 八まん        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 009      | 若宮 (建造物)            | 若宮         | 若宮          | 1       | 若宮         | 1       | 若宮         | 1       | 若宮         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 010      | 岩崎 (建造物)            | 岩崎         | 岩崎          | 1       | 岩崎         | 1       | 岩崎         | 1       | 岩崎         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 011      | 新宮 (建造物)            | しん宮        | シン宮         | 1       | しん宮        | 1       | しん宮        | 1       | しん宮        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 012      | 横江村 (村名・集落)         | よこへ村       | ヨコヘ村        | 1       | よこへ村       | 1       | よこへ村       | 1       | よこへ村       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 013      | 千塚村 (村名・集落)         | ちがき村       | チガキ村        | 1       | ちがき村       | 1       | ちがき村       | 1       | ちがき村       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 014      | 芦原村 (村名・集落)         | あしくら村      | アシクラ村       | 1       | あしくら村      | 1       | あしくら村      | 1       | あしくら村      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 015      | 猿守 (建造物)            | ちんじゆ       | 猿守          | 1       | ちんじゆ       | 1       | ちんじゆ       | 1       | ちんじゆ       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 016      | 有頼堂 (建造物)           | 有頼の堂       | 有頼堂         | 1       | 有頼の堂       | 1       | 有頼の堂       | 1       | 有頼の堂       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 017      | 帯沢 (建造物)            | たいしやく      | 帯沢          | 1       | たいしやく      | 1       | たいしやく      | 1       | たいしやく      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 018      | 姥堂 (建造物)            | 姥堂         | 姥堂          | 1       | 姥堂         | 1       | 姥堂         | 1       | 姥堂         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 019      | 志強村 (村名・集落)         | したか村       | したか村        | 1       | したか村       | 1       | したか村       | 1       | したか村       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 020      | 杉山川 (川名)            | しやうめう川     | シヤウメウ川      | 1       | しやうめう川     | 1       | しやうめう川     | 1       | しやうめう川     | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 021      | 橋樑 (建造物・地名)         | 橋樑         | 橋樑          | 1       | ふしぼし       | 1       | ふしぼし       | 1       | ふしぼし       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 022      | 湯川千手堂 (建造物)         | ゆ川せんじゆ堂    | ユ川千手堂       | 1       | ゆ川せんじゆ堂    | 1       | ゆ川せんじゆ堂    | 1       | ゆ川せんじゆ堂    | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 023      | 材木坂 (名前・名物)         | さいまき坂      | 材木坂         | 1       | さいまき坂      | 1       | さいまき坂      | 1       | さいまき坂      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 024      | 熊手権現 (建造物)          | くまごんげん     | クマフ権現       | 1       | くまごんげん     | 1       | くまごんげん     | 1       | くまごんげん     | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 025      | 岩倉岩屋 (建造物)          | わしが岩屋      | わしが岩屋       | 1       | わしが岩屋      | 1       | わしが岩屋      | 1       | わしが岩屋      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 026      | 美女杉 (名前・名物)         | びしよ杉       | びしよ杉        | 1       | びしよ杉       | 1       | びしよ杉       | 1       | びしよ杉       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 027      | 比叟 (名前・名物)          | しかりぼり      | シカリバリ       | 1       | しかりぼり      | 1       | しかりぼり      | 1       | しかりぼり      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 028      | 断崖 (建造物・地名)         | たんざいさか     | タンサイ        | 1       | たんざい       | 1       | たんざい       | 1       | たんざい       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 029      | 秀杉 (名前・名物)          | かぶろ杉       | カブロ杉        | 1       | かぶろ杉       | 1       | かぶろ杉       | 1       | かぶろ杉       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 030      | ふな坂 (地名)            | ふな坂        | フナ坂         | 1       | ふな坂        | 1       | ふな坂        | 1       | ふな坂        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 031      | 傾奇堂 (建造物)           | かきき堂       | クワサキ堂       | 1       | かきき堂       | 1       | かきき堂       | 1       | かきき堂       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 032      | 葛谷 (建造物)            | くわ谷        | クツ谷         | 1       | くわ谷        | 1       | くわ谷        | 1       | くわ谷        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 033      | 杉木渡 (名前・名物)         | しやうめうのたき   | シヤウメイノタキ    | 1       | しやうめうのたき   | 1       | しやうめうのたき   | 1       | しやうめうのたき   | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 034      | 不動堂 (建造物)           | 不動堂        | 不動堂         | 1       | 不動堂        | 1       | 不動堂        | 1       | 不動堂        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 035      | 菅谷ヶ原 (地名)           | みだが原       | ミダガ原        | 1       | みだが原       | 1       | みだが原       | 1       | みだが原       | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし      | ×       |
| 036      | 中津原 (建造物)           | 中津原        | 中津原         | 1       | 中津原        | 1       | 中津原        | 1       | 中津原        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 037      | 道分 (地名)             | 道分         | 道分          | 1       | 道分         | 1       | 道分         | 1       | 道分         | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし      | ×       |
| 038      | 一の谷大嶺 (名所・名物)       | 一ノ谷大くさり    | 一ノ谷大クサリ     | 1       | 一ノ谷大くさり    | 1       | 一ノ谷大くさり    | 1       | 一ノ谷大くさり    | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 039      | 二の谷小嶺 (名所・名物)       | ニノ谷小くさり    | ニノ谷小クサリ     | 1       | ニノ谷小くさり    | 1       | ニノ谷小くさり    | 1       | ニノ谷小くさり    | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 040      | 獅子ヶ鼻 (名所・名物)        | ししがはな      | 獅子ヶ鼻        | 1       | ししがはな      | 1       | ししがはな      | 1       | ししがはな      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 041      | 岩屋堂 (建造物)           | 岩屋堂        | 岩屋堂         | 1       | 岩屋堂        | 1       | 岩屋堂        | 1       | 岩屋堂        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 042      | 焼石 (名所・名物)          | うは石        | 焼石          | 1       | うは石        | 1       | うは石        | 1       | うは石        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 043      | 鏡石 (名所・名物)          | かがみ石       | カガミ石        | 1       | かがみ石       | 1       | かがみ石       | 1       | かがみ石       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 044      | 家堂 (建造物)            | 家堂         | 家堂          | 1       | 家堂         | 1       | 家堂         | 1       | 家堂         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 045      | 玉殿岩屋 (名所・名物)        | 玉殿岩屋       | 玉殿岩屋        | 1       | 玉殿岩屋       | 1       | 玉殿岩屋       | 1       | 玉殿岩屋       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 046      | 六道 (建造物)            | 六道         | 六道          | 1       | 六道         | 1       | 六道         | 1       | 六道         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 047      | 信楽堂 (建造物)           | かねつき堂      | カネツキ堂       | 1       | かねつき堂      | 1       | かねつき堂      | 1       | かねつき堂      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 048      | 徳母殿 (建造物)           | さんげ坂       | サンゲ坂        | 1       | さんげ坂       | 1       | さんげ坂       | 1       | さんげ坂       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 049      | 板堂 (建造物)            | はらひ堂       | ハラヒ堂        | 1       | はらひ堂       | 1       | はらひ堂       | 1       | はらひ堂       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 050      | 一の橋                 | 一のこし       | 一ノコシ        | 1       | 一のこし       | 1       | 一のこし       | 1       | 一のこし       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 051      | 二の橋                 | 二          | 二ノコシ        | 1       | 二          | 1       | 二          | 1       | 二          | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 052      | 三の橋                 | 三          | 三ノコシ        | 1       | 三          | 1       | 三          | 1       | 三          | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 053      | 四の橋                 | 四          | 四ノコシ        | 1       | 四          | 1       | 四          | 1       | 四          | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 054      | 五の橋                 | 五          | 五ノコシ        | 1       | 五          | 1       | 五          | 1       | 五          | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 055      | 徳安堂 (建造物)           | かねつき堂      | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | かねつき堂      | 1       | かねつき堂      | 1       | かねつき堂      | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 056      | 御本社 (建造物)           | 御本社        | 御本社         | 1       | 御本社        | 1       | 御本社        | 1       | 御本社        | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 057      | こころ石 (地名)           | こころ石       | ココロ石        | 1       | こころ石       | 1       | こころ石       | 1       | こころ石       | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 058      | 大汝 (山名・建造物)         | 大汝         | 大汝          | 1       | 大汝         | 1       | 大汝         | 1       | 大汝         | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 059      | 富士の祈立 (山名)          | ふじのおり立     | ふじのおり立      | 1       | ふじのおり立     | 1       | ふじのおり立     | 1       | ふじのおり立     | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 060      | 別山本尊帯沢 (山名・建造物・本尊名) | 別山本尊たいしやく  | 別山本尊たいしやく   | 1       | 別山本尊たいしやく  | 1       | 別山本尊たいしやく  | 1       | 別山本尊たいしやく  | 1       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |
| 061      | 行者かへり (地名)          | 行者かへり      | 行者かへり       | 1       | 行者かへり      | 1       | 行者かへり      | 1       | 行者かへり      | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし      | ×       |
| 062      | 大走り (地名)            | 大はしり       | 大ハシリ        | 1       | 大はしり       | 1       | 大はしり       | 1       | 大はしり       | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし      | ×       |

| 項目<br>番号 | 比較項目   | 木立山登山案内図   | 市神神社本                                   | 比較<br>1 | 広川家本                                    | 比較<br>2 | 野野家本   | 比較<br>3 | 志廣家本   | 比較<br>4 | 立山博物館日本  | 比較<br>5 | 板原寺本        | 比較<br>6 |        |   |
|----------|--|--|---|---------|---|---------|--|---------|--|---------|--|---------|-------------|---------|--------|---|
| 063      | 小走り (地名)   | 小ほしり   | 小ハシリ                                    | 1       | 小ほしり                                    | 1       | 小走り  | 1       | 小走り  | 1       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| 064      | 釣岳 (山名)  | つるぎがたけ   | 釣ガタケ                                    | 1       | つるぎがたけ                                  | 1       | 釣が岳  | 1       | つるぎがたけ   | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 065      | ねおの堂 (建造物)                                       | ねおの堂   | 十王堂                                     | ×       | ねおの堂                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | ねおの堂   | 1       | 画像・文字注記なし                                      | ×       | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 066      | みくりが池 (池名)                                       | みくりが池  | ミドリガ池                                   | 1       | みくりがえき                                  | 1       | みくりにけ  | 1       | みくりが池  | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 067      | えんま堂 (建造物)                                       | えんま堂   | エンマ堂                                    | 1       | えんま堂                                    | 1       | えんま堂   | 1       | えんま堂   | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 068      | ミドリガ池 (池名)                                       | ミドリガ池  | ミドリガ池                                   | 1       | みどりが池                                   | 1       | みどりが池  | 1       | みどりが池  | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 069      | 賽の河原 (名所・建造物)                                    | さいのかわら   | サイノカハラ                                  | 1       | さいのかわら                                  | 1       | さいの川原  | 1       | さいのかわら   | 1       | 画像あり/ただし賽舎の<br>画像はなし/文字注記なし                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 070      | 白の池 (池名)   | ちのいけ   | チノイケ                                    | 1       | ちのいけ                                    | 1       | ちの池  | 1       | 白の池  | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 071      | 如意橋堂 (建造物)                                       | 如意橋堂   | 如意橋堂                                    | 1       | 如意橋堂                                    | 1       | 如意橋堂   | 1       | 如意橋堂   | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 072      | 地蔵谷 (地名)   | ちごく谷   | チゴク谷                                    | 1       | ちごく谷                                    | 1       | 地ごく谷   | 1       | ちごく谷   | 1       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| 073      | ちそう堂 (建造物)                                       | ちそう堂   | ちそう堂                                    | 1       | ちそう堂                                    | 1       | ちそう堂   | 1       | ちそう堂   | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 074      | からだせん (山名・建造物)                                   | からだせん  | カウダ山                                    | 1       | からだせん                                   | 1       | からだせん  | 1       | からだせん  | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 075      | 大日岳 (山名)   | 大日のたけ  | 大日ノタケ                                   | 1       | 大日だけ                                    | 1       | 大日のたけ  | 1       | 画像・文字注記なし                                      | ×       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 076      | 高生原 (地名)   | ちくせいはら   | 高生原                                     | 1       | ちくせう原                                   | 1       | 文字注記なし   | ×       | 画像・文字注記なし                                      | ×       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| 077      | 浄土山本尊阿彌陀 (山名・本尊名)                                | 浄土山本尊阿ミダ   | 浄土山本尊阿ミダ                                | 1       | 浄土山本尊阿ミダ                                | 1       | 浄土山本尊阿ミダ                                       | 1       | 浄土山本尊阿彌陀如来                                     | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 078      | 龍王岳 (山名)   | 龍王だけ   | 龍王ガ嶺                                    | 1       | 龍王がたけ                                   | 1       | 龍王だけ   | 1       | 龍王だけ   | 1       | 個別でせず  | △       | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 079      | 薬師岳 (山名)   | やくしがたけ   | 薬師ガ嶺                                    | 1       | やくしがたけ                                  | 1       | やくしがたけ   | 1       | やくしがたけ   | 1       | 個別でせず  | △       | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 080      | 五色泉 (地名)   | 五色泉  | 五色泉                                     | 1       | 注記の囲みはあるが、文字はなし                         | 0.5     | 五色泉  | 1       | 五色泉  | 1       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| 081      | 水上堂龍王 (建造物)                                      | 水上堂龍王  | 水上堂龍王                                   | 1       | 水上堂龍王                                   | 1       | 水上堂龍王  | 1       | 水上堂龍王  | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 082      | 刈込池 (池名)   | かりこみがいけ  | カリコミガ池                                  | 1       | かりこみがいけ                                 | 1       | かりこみがいけ  | 1       | かりこみが池   | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 083      | 立山温泉 (名所)  | 温泉   | 温泉                                      | 1       | 温泉                                      | 1       | 温泉   | 1       | 温泉   | 1       | 画像・文字注記なし                                      | ×       | 画像あり/文字注記なし | 0.5     |        |   |
| 084      | 岩塊寺の鳥居   | 画像あり/文字注記なし                                      | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし | ×       |        |   |
| 085      | 戸持寺の吊橋   | 画像あり/文字注記なし                                      | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし | ×       |        |   |
| 086      | 佐伯有熊   | 画像・文字注記なし  | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                                      | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし | ×       |        |   |
| 087      | 矢立を道って近ける船                                       | 画像・文字注記なし  | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                                      | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし | ×       |        |   |
| 088      | 阿弥陀如来と観音菩薩・勢至菩薩の三尊像                              | 画像あり/文字注記なし                                      | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし | 1       |        |   |
| 089      | 地蔵の火焔  | 画像あり/文字注記なし                                      | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし | 1       |        |   |
| 090      | 地蔵の貫め者 (火車)                                      | 画像・文字注記なし  | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                                      | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし | ×       |        |   |
| 091      | 地蔵の貫め者 (その他)                                     | 画像・文字注記なし  | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                               | 1       | 画像・文字注記なし                                      | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし                                    | ×       | 画像あり/文字注記なし | ×       |        |   |
| 092      | 湯川   | 画像・文字注記あり  | 画像・文字注記あり                               | 1       | 画像・文字注記あり                               | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像・文字注記あり                                      | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 0.5     | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 093      | 浄土川  | 画像あり/文字注記なし                                      | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 094      | 方位文字注記   | 東・西・南・北  | 文字注記なし                                  | ×       | 文字注記なし                                  | ×       | 西  | 0.5     | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| 095      | じやなぎ   | 画像・文字注記なし  | 画像・文字注記なし                               | 1       | じやなぎ                                    | ×       | 画像・文字注記なし                                      | ×       | 画像・文字注記なし                                      | 1       | 画像・文字注記なし                                      | 1       | 画像・文字注記なし   | 1       |        |   |
| 096      | 常盤寺川   | 画像あり/文字注記なし                                      | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                             | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像あり/文字注記なし                                    | 1       | 画像・文字注記なし   | ×       |        |   |
| 097      | 日輪・月輪  | 画像なし   | 画像なし                                    | 1       | 画像なし                                    | 1       | 画像なし   | 1       | 画像なし   | 1       | 画像なし   | 1       | 画像あり        | ×       |        |   |
| 098      | 玉殿の矢立阿弥陀如来                                       | 画像なし   | 画像なし                                    | 1       | 画像なし                                    | 1       | 画像なし   | 1       | 画像なし   | 1       | 画像なし   | 1       | 画像あり        | ×       |        |   |
| 199      | 二十五尊像来迎  | 画像なし   | 画像なし                                    | 1       | 画像なし                                    | 1       | 画像なし   | 1       | 画像なし   | 1       | 画像なし   | 1       | 画像あり        | ×       |        |   |
| A100     | 太こや此所より称名滝拜む。伏し拝みという                             | 太こや此所より称名滝拜む。伏し拝みという                             | 大コヤ此所ヨリシヤウメイノタキオガム、フシ拜ミト云。              | 1       | 太こや此所より称名滝拜む。伏し拝みという                    | 1       | 此所よりしやうめう齋拜む。                                  | 1       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| B101     | 自然の岩屋奥行十間程。内に蓮花石あり。弥陀の金さう有なり。左の脇に矢の穴あり。此矢御本社にあり。 | 自然の岩屋奥行十間程。内に蓮花石あり。弥陀の金さう有なり。左の脇に矢の穴あり。此矢御本社にあり。 | 自然の岩屋。奥行十間程。内、蓮花石あり。左の脇に矢の穴あり。此矢御本社にあり。 | 1       | 自然の岩屋。奥行十間程。内、蓮花石あり。左の脇に矢の穴あり。此矢御本社にあり。 | 1       | 自然の岩屋。奥行十間程。内、蓮花石有。弥陀の金さう有。左の脇に矢の穴あり。此矢御本社にあり。 | 1       | 自然の岩屋。奥行十間程。内、蓮花石有。弥陀の金さう有。左の脇に矢の穴あり。此矢御本社にあり。 | 1       | 自然の岩屋。奥行十間程。内、蓮花石有。弥陀の金さう有。左の脇に矢の穴あり。此矢御本社にあり。 | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし | × |
| C102     | 室堂より御本社迄一里。此あたり雪有。はらへ堂より上。弥陀の妙体也。                | 室堂より御本社迄一里。此あたり雪有。はらへ堂より上。弥陀の妙体也。                | 室堂ヨリ御本社迄一里。此ノアタリ雪アリ。秘堂ヨリ上。弥陀ノ妙体ナリ       | 1       | 文字注記なし                                  | ×       | 室堂より御本社迄一里。此あたり雪有。はらへ堂より上。弥陀の妙体なり。             | 1       | 室堂より御本社まで一里。此あたり雪有。はらへ堂より上。弥陀の妙体なり。            | 1       | 室堂より御本社まで一里。此あたり雪有。はらへ堂より上。弥陀の妙体なり。            | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし | × |
| D103     | 此峯に拜頂し。百念仏の前に。弥陀来迎あり。                            | 此峯にせんでうし。百ねん仏の前に。ミダ来迎あり                          | 此峯ニ拜頂シ。百念仏ノ前に弥陀来迎アリ。                    | 1       | 此峯にせんでうし。百ねん仏の前にミダ来迎あり                  | 1       | 此峯。百ねん仏の前に弥陀来迎あり。                              | 1       | 此峯にせんでうし。百ねん仏の前にミダ来迎あり                         | 1       | 此峯にせんでうし。百ねん仏の前にミダ来迎あり                         | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし | × |
| E104     | 御内ちん共云。本尊十一面観音。                                  | 御内ちん共云。本尊十一面観音                                   | 御内陳ト云。本尊十一面観音                           | 1       | 御内ちん共云。本尊十一面観音                          | 1       | 御内ちん共云。本尊十一面観音                                 | 1       | 御内ちん共云。本尊十一面観音                                 | 1       | 御内ちんども云。本尊十一面観音                                | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし | × |
| F105     | 帝釈の積水池。七間十六間。                                    | たいしやくの積水池。七間十六間                                  | 帝釈積水池。七間十六間                             | 1       | たいしやくの積水池。七間十六間                         | 1       | たいしやくの積水池。七間十六間                                | 1       | たいしやくの積水池。七間十六間                                | 1       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| G106     | 有積の具足あり。   | 有積の具足あり  | 有積ノ具足アリ                                 | 1       | 有積の具足あり                                 | 1       | 有積の具足あり  | 1       | 有積の具足あり  | 1       | 文字注記なし   | ×       | 文字注記なし      | ×       |        |   |
| H107     | 塔石あり。自然石也。                                       | 塔石あり。自然石也  | 塔石アリ。自然石也                               | 1       | 塔石あり。自然石也                               | 1       | 塔石なり。自然石也                                      | 1       | 塔石有。自然石也                                       | 1       | 塔石有。自然石也                                       | 1       | 文字注記なし      | ×       | 文字注記なし | × |
|          |  |  |   | 104.5   |   |         |  | 103.5   |  |         | 102.5  | 96.5    | 40.5        | 34.5    |        |   |



写真2 立山曼荼羅『市神神社本』



写真5 立山曼荼羅『志鷹家本』

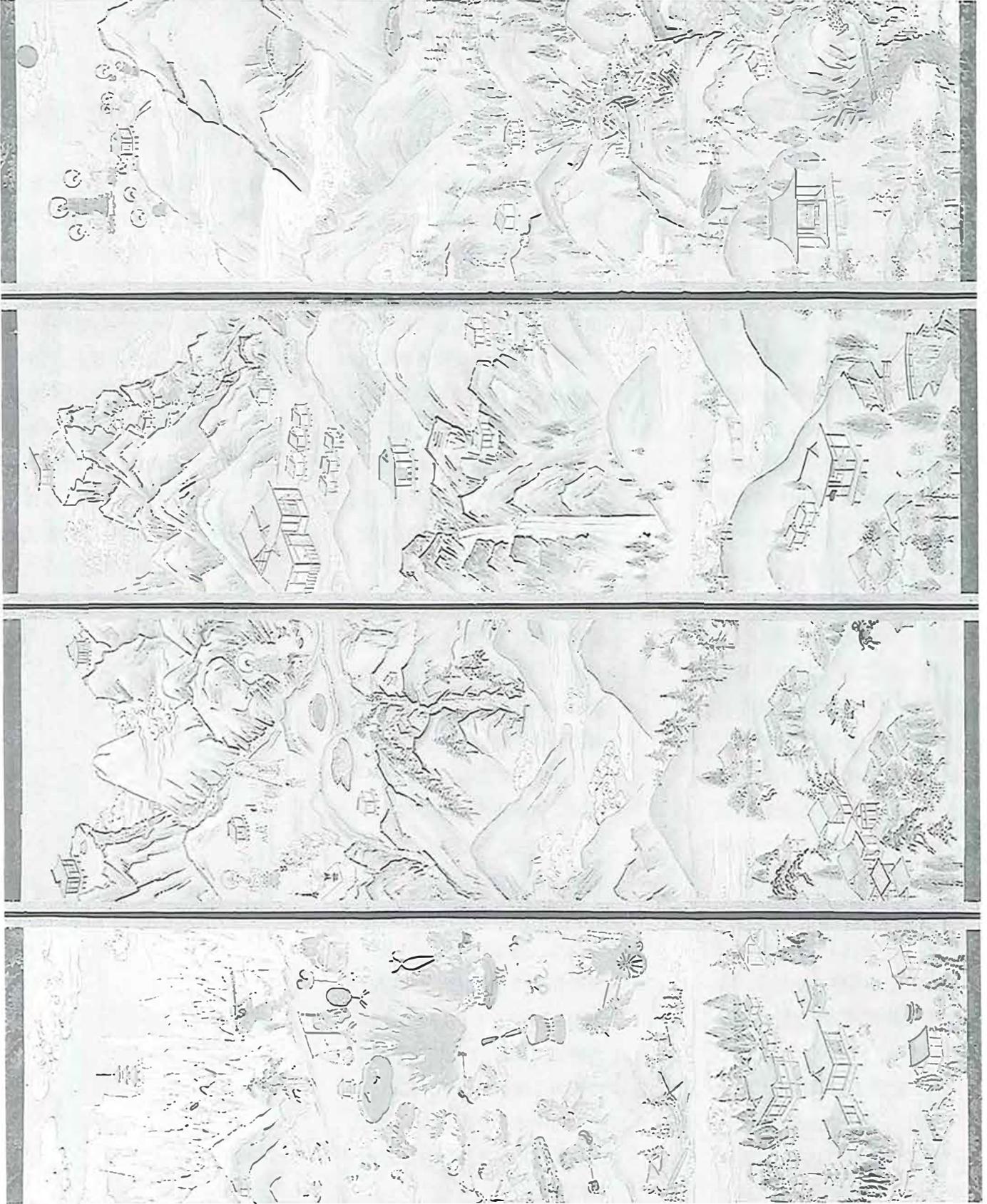


写真7 立山曼荼羅『桃原寺本』

## 註

註1) 山絵図に関する史料には以下のものがある。「立山絵図再板往覆 天保十三壬寅年十一月綴之」(廣瀬誠編『越中立山古記録 第3巻』109頁～120頁、立山開発鉄道株式会社、1991年3月)。廣瀬誠編『越中立山古記録 第1巻』(62頁、立山開発鉄道株式会社、1989年9月)。「～前略～縮方二旦那場を段々相求、立山牛玉札并二山絵図等相くばり少々宛之初尾もらい、渡世仕り来申候。～後略～」。『越中立山古記録 第1巻』(63頁)。「～前略～已二彼方宮地村等々諸参詣人、荷物持仕候者共之内二、右参詣人私共方二而国本へみやげ等ト申、牛玉札・山絵図等相求候を見請候得ば、其俣荒出、～後略～」。『越中立山古記録 第1巻』(104頁～106頁)。「～前略～山絵図之事ハ本社附之衆徒にても無之候得者、芦峯寺と書記候絵図を弘候義は難成候。芦峯寺と不記して有来之絵図を売る候共、売物同様故、不及貧着候条、此旨可有御申渡候。以上。」橋本龍也編『越中紀行文集(越中資料集成10)』(582頁、桂書房、1994年4月)。文政

6年(1823)尾張藩士某『三の山廻』「岩峯寺ハ寺式拾四坊有て、其日の当番にて取扱なり。是非此当番へ懸て山銭も此所にて出せば請取をさし越を、登山の上、室にて指出す也。山銭老人百三拾文づつ也。此寺にて支度も泊りも出来る也。持参の弁当遣へバ少しの茶代置てよし。此寺に泊りても百五拾文の由。経文の書たるもの出し、地獄にて血の池へ入よと云。一枚三文づつ。其外山の図をも出す。」。池大雅『三岳記行』(京都国立博物館)によると、宝暦10年(1760)、池大雅は高芙蓉、韓大年らと立山を訪れ禪定登山を行ったが、その際、7月10日に富山を発った一行は、岩峯寺延命院で昼食をとり、「絵図・血盆経」を48文で購入している。

註2) 木版立山登山案内図の諸作品は、嶋本隆一・福江充・坂森幹浩『立山登山案内図と立山カルデラ』(立山カルデラ砂防博物館、2000年7月)に数多く掲載されている。

註3) 前掲書『立山登山案内図と立山カルデラ』に収録の資料写真19番・20番。

註4) 廣瀬誠編『越中立山古記録 第3巻』(10頁、立山

開発鉄道株式会社、1991年10月)。

註5) 『日本歴史地名大系 27巻 京都市の地名(オンデマンド版)』(平凡社、2001年7月)。

註6) 福江充『立山曼荼羅—絵解きと信仰の世界』(197頁～202頁、法蔵館、2005年7月)。福江充「江戸城をめぐる立山信仰と立山曼荼羅—「宝泉坊本」と「吉祥坊本」の成立背景」(真鍋俊照編『仏教美術と歴史文化』所収、511頁～530頁、法蔵館、2005年10月)。